

令和5年度 指定管理者業務評価票 (中間・年間)

令和7年1月9日作成

【川西市】

指定管理者名 特定非営利活動法人民事務局かわにし及び株式会社ジョイン川西グループ

指定期間 令和5年4月1日～令和8年3月31日

I 業務の実施体制及び業務内容について

評価項目	評価内容	仕様書		9月(中間)		年間		備考
		頁	見出し	管理者	川西市	管理者	川西市	
1	個人情報の保護対策について	P.1	2	A	A	A	A	
2	法令等遵守について	P.1	2	A	A	A	A	
3	川西市市民活動センター事業について	P.2	7	A	A	A	A	
4		P.2	7	A	A	A	A	
5		P.3	7	A	A	S	S	市民活動に関する講座を計17回、展示を1回開催したため。
6		P.3	7	A	A	A	A	
7		P.3	7	A	A	B+	B+	
8		P.3	7	A	A	B+	B+	
9		P.4	7	B+	B+	A	A	
10		P.4	7	A	A	A	A	
11	川西市男女共同参画センター事業について	P.4	7	A	A	A	A	
12		P.4	7	A	A	A	A	
13		P.5	7	A	A	A	A	
14		P.5	7	B+	B+	A	A	
15	センター共通事業	P.5	7	A	A	B+	B+	
16	施設管理について	P.6	9	A	A	A	A	
17		P.6	9	A	A	A	A	

評価項目	評価内容	仕様書		9月 (中間)		年間		備考	
		頁	見出し	管理者	川西市	管理者	川西市		
18	管理の記録、報告について	協定書等に従い、事業計画書のほか各種報告書を市に提出している。	P.7	10	A	A	A	A	
19		業務委託仕様書等に定める業務の実施体制は確保されている。連絡調整会議等に参加し、必要な資料等を提供している。	P.7	10	A	A	A	A	
20		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	P.8	10	A	A	A	A	
21	外部委託について	外部委託の内容は、事前に市に承諾を受けており、適切に行っている。	P.8	10	A	A	A	A	
22	緊急時の対応について	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	P.8	10	A	A	A	A	
23		緊急時のマニュアルが整備され、周知徹底されている。	P.8	10	A	A	A	A	
24		緊急時又は危険予測時に、直ちに市に報告を行い、措置を講じている。	P.8	10	A	A	A	A	
25	組織体制について	事業計画、業務委託仕様書等に即し、人員を過不足なく配置している。	P.10	16	A	A	A	A	
26		事業計画書、提案書に即し、研修等を実施して、職員の育成を行っている。	P.10	16	A	A	A	A	
27		センターの管理運営に必要な資格を有する人員が確保されている。	P.10	16	A	A	A	A	
28	運営管理に関する業務について	労働環境が適正に保持されている。	P.10	16	A	A	A	A	
29		迅速、的確かつ効率的な人員配置で実施する体制で行っている。	P.10	16	A	A	A	A	
< I 総括 >	業務の実施状況に関する評価				A	A	A	A	

II サービスの質の評価

評価項目	評価内容	仕様書						備考
		9月(中間)		年間				
		頁	見出し	管理者	川西市	管理者	川西市	
1	事業の計画性・透明性について			A	A	A	A	
2	環境への配慮について	P.1	2	A	A	A	A	
3	他部署との連携について	P.1	2	A	A	A	A	
4	利用者満足度について	P.6	8	A	A	S	S	「貸室等利用」「女性のための相談」「講座・交流会」に関する満足度が非常に高いため
5	利用者対応について	P.8	10	A	A	A	A	
6		P.8	10	A	A	A	A	
7		P.8	10	A	A	A	A	
8	業務改善について	P.9	11	A	A	A	A	
9	自主事業について	P.10	15	A	A	A	A	
< II 総括 >	業務の内容・質に関する評価			A	A	A	A	

III サービスの安定性の評価

評価項目	評価内容	仕様書						備考
		9月(中間)		年間				
		頁	見出し	管理者	川西市	管理者	川西市	
1	経費の削減	P.1	2	A	A	A	A	
2	事業収支			A	A	A	A	
3	経理事務	P.8	10	A	A	A	A	
< III 総括 >	経費の収支等に関する評価			A	A	A	A	

総合

<p>指定管理者所見</p>	<p>●川西市市民活動センター・川西市男女共同参画センター第4期指定管理事業では、スローガン「育み、育まれる『場』」の基に「5つの方針」を立てて事業遂行している。          (1)川西市内での社会貢献活動の促進、男女共同参画社会づくりの推進のために、市民の「公共性」を涵養しつつ、マチに「多様性」のある豊かな文化が醸成できるよう、併設館の特徴を活かした事業を展開する。          (2)公共施設としての「公平性」については「量的」「質的」両面に配慮し、利用者に納得感が得られる運営管理に努める。          (3)「利便性」については、市民視点・利用者目線に立った「使いやすさ」「便利さ」「お役立ち感」を心がけるとともに、「民間」視点を活かした経営効率化を引き続き図っていく。          (4)「利用者とともに創る“施設”」として「利用者自治」をモットーに、魅力ある「場」づくりを継続し、対象者別に様々なメディアを効果的に用いてさらなる利用を促す。          (5)働くスタッフにとっても「育み、育まれる“場”」となるべく配慮し、施設の「持続可能な運営管理」をめざしていく。          ●第4期初年度も今までの蓄積を糧に、この事業で大事にしている「利用者自治」の哲学をもって川西市の「協働モデル」となるべく創意工夫しながら事業を実施した。</p>	
<p>評価の理由等</p>	<p>・百年に一度と言われる災禍に見舞われ、世界中の誰もが平等に感染リスクを負う「当事者」となって三年が経った。しかしながら、急速に進化したICT社会での様々な方策も出現し、それらを積極的に取り入れることで、前年度より回復傾向がはつきりと見えた1年でもあった。          ・この大きな変換期に必要なことは、世界的な視座での「利己」から「利他」へのパラダイムシフト、そしてそれが「縦系」ならば、織り込んでいく「横系」は「市民」のエンパワメントによる「solidarity(連帯)」ではないかと考える。その理念と、事業の評価軸としては「量的評価」のみならず「質的評価」にも力点を置いて、成果の視覚化に引き続き取り組んでいきたい。          ・また、当事業に携わるスタッフ(20代～60代)も定着し、各自の意欲的な取り組みで新たな内容の事業も実施することができた。今後も、責任性を付加した業務分担を進め、経験やスキルの継承・共有化で、属人的にならない事業運営に努めていきたい。</p>	
<p>総合評価</p>	<p>A</p>	
<p>市コメント</p>	<p>施設運営については、明確なスローガンと方針を掲げ、新型コロナウイルス感染症などの対策にも引き続き配慮し、21周年フェスタを「フェスタ月間」として開催するなど、安全性の確保を最優先にしながら、各種事業を展開していることは評価できる。          来館者数はコロナ以前の水準には戻っておらず、登録団体数も昨年度と同数となっている。施設運営の質の維持向上に取り組みながら、新規利用者を開拓し、来館者数、貸室利用者数、講座参加者数等の増加につなげていただきたい。          今後も、市と指定管理者との調整会議を毎月開催し、情報共有を図りながら、施設の管理運営に努めていただきたい。</p>	
<p>外部評価委員コメント</p>	<p>・利用者がしっかりとされており、有効性、適正性に関して、かなりのプラス評価ができる。          ・人材マッチング制度のような新たな訴求できる企画があれば、定量性にも繋がっていくのではないと思う。          ・多種多様な企画は予算的にも難しいと思うので、川西市ならコレだ、という知名度の企画があれば、それが定量性、適正性にも繋がっていくのではないと思う。          ・効率性についていえば、サステナブルな運営を考えて欲しい。インフレ対応の経費の分担については、募集規約に入れていくべきである。          ・十分な活動をされており、評価としては良い。          ・コストカットについては、管理者側で可能な部分と不可能な部分があるので、不可能な部分については、市と柔軟に話し合いをすべきである。無理な部分は無理な状況を整理し、交渉していかないと、サービスの低下にも繋がってしまう。          ・利用者として、利用者自治のなかで、心地よく活動できているのは、センターが上手く育んでいるからこそだと思う。ぜひ、モデルケースとして評価して欲しいし、事業が継続できるように予算面も含めて見合った対応を利用者としてお願いしたい。</p>	

※ 評価区分

個別評価 【評価者】 指定管理者 市	S	協定書等の内容を遵守し、その内容より優れた管理内容である。
	A	協定書等の内容を遵守した内容である。
	B+	協定書等の内容を概ね遵守しているが、一部課題とすべき項目がある。 当該課題について指定管理者において解決に向けて取り組んでいる。
	B	協定書等の内容を概ね遵守しているが、一部課題とすべき項目がある。 当該課題について指定管理者において解決に向けた取り組みに具体性が乏しい。
	B-	協定書等の内容を概ね遵守しているが、一部課題とすべき項目がある。 当該課題について指定管理者において解決に向けた取り組みに着手できていない。
	C	協定書等の内容を遵守しておらず、今後も適切な管理運営が見込めない。
総括評価 【評価者】 指定管理者 市	S(優良)	個別評価がすべてA以上で、かつSが過半数以上である。
	A(良好)	個別評価がすべてB以上で、かつA以上が8割以上である。
	B (良好、一部 課題あり)	個別評価がすべてB以上である。
	C(要改善)	個別評価にCが含まれる。
総合評価 【評価者】 市	S(優良)	総括評価がすべてA以上で、かつSが2/3以上である。
	A(良好)	総括評価がすべてB以上で、かつA以上が2/3以上である。
	B (良好、一部 課題あり)	総括評価がすべてB以上である。
	C(要改善)	総括評価にCが含まれる。

## 令和5年度 指定管理者業務評価個票

令和 6年 4月 15日 時点

指定管理者名 特定非営利活動法人市民事務局かわにし及び株式会社ジョイン川西グループ  
 指定期間 令和 5 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

評価項目	管理内容における課題及び改善内容	評価		
		管理者	川西市	備考
I-7	自治会等地縁団体との接触の機会が少なく、相談対応や講座等のPRを積極的に行うことが難しかった。今後は地縁団体向けの講座等の情報を直接届けることにより、まずは顔の見える関係づくりに取り組む。	B+	B+	
I-8	「地域人材」に関しては、目標値の20を超える登録があったが、「地域団体」の登録が進まなかった。今後は地縁団体相談とも連携させ、情報を直接届けることにより、仕組みの活用を促す。	B+	B+	
I-15	「フェスタ」に関しては、目標値を超える参加があったが、「交流会」への参加が少なかった。コロナ禍以降の「交流の場」という形を見直し、かつ「みんなでつくる施設」というコンセプトを積極的にPRしていく。	B+	B+	
前回から継続している課題				
特記事項				

※前回の評価において、記載した項目についても課題が改善するまで記載すること。